



2018-2019年度RI会長  
マーク・ダニエル・  
マローニー

2019-2020年度RI第2610地区テーマ  
「一歩前進しよう」  
ガバナー: 松本 耕作

河北南クラブテーマ  
「進化に挑む」

例会日: 月曜日 18:00 ~ 19:00

会長: 沖見 好秀  
幹事: 横見 健太  
会報委員長: 加茂川 寛之



例会場・事務局  
勝崎館

石川県河北郡津幡町字庄イ2-1

TEL (076)288-8855 FAX (076)288-8856

E-mail k.minami@proof.ocn.ne.jp

URL <http://www.kahokuminami-rc.jp>



ロータリーは世界をつなぐ

6月は「親睦活動」月間です。

## 第989回 通常例会 (6月1日(月))

ロータリーソング「コロナウイルス感染拡大防止のため自粛」  
4つのテスト「勝崎 猛 会員」

### 会長挨拶



沖見 好秀 会長

お久しぶりです。思えば、3月の例会を最後に、あの頃はまだタイヤ交換もせずに、寒い日が続いていたのですが、今日はもうクールビズということで、早いものですね。世間はコロナということで、皆さん、本当に大変な思いをされたかと思いますが、大丈夫でしたでしょうか？5月30日(土)に当クラブでは、『おうちでごはん応援プロジェクト』で、要生活支援の方々へ勝崎館特性弁当の配布を行いました。こちらは、5月31日の北国新聞社様に記事にして頂き、それを読んでいますと、それに尽力して下さいました皆さんや、受け取られた方の喜ぶお顔やお礼の言葉を思い出し、直接支援することが、こんなに気持ち良いだと実感し感慨深いものがありました。お仕事で忙しいところを協力していただいた皆様、誠にありがとうございました。

### 誕生日祝い



3月誕生日 沖見 好秀(53) 会員(写真左)



5月誕生日 西茂 (76) 会員(写真左)  
蔵西 順治(56) 会員(写真右)



4月誕生日 高松 祐輔(67) 会員(写真左)  
岡田 等(55) 会員(写真右)



6月誕生日 小林 博子( ) 会員(写真左)

### 幹事・委員会報告

#### ● 幹事(横見 健太)

・河北RCが毎年開催している地引き網親睦会は、コロナウイルス感染拡大防止のため中止が決定いたしました。  
・6月ならびに7月の例会は開催時刻を18時といたします。お間違えのないようお願いいたします。

### ニコニコBOX・ロータリー財団・ポリオプラス・米山奨学会寄附

畝 和弘(輪島RCより本日のお客様)、  
沖見 好秀、横見 健太、岡田 等、  
米田 誠、西茂、粟田 卓二、飯田 道昭、  
岡本 壮生、原田 充、高松 祐輔、  
蔵西 順治、東 皆子、川端 茂、勝崎 猛

### 本日のプログラム 「入会式」



(株)北国医療福祉開発 代表取締役 小林 博子 様  
(詳細はp3にて)

### 第1回・米山功労賞授与



高松 祐輔 会員(写真左)

会長挨拶



西茂 副会長長

現在、世界では、AI（人工知能）の研究がされていることがご存知かと思いますが。専門家でも意見が割れ、定義が確定的とは言い難いですが、『人間の機能の一部分をコンピューターで再現したものである』とのこと。さて、その歴史は意外に古く、電子式デジタルコンピュータが1946年に開発されてから、およそ10年後の1956年に『人工知能』という言葉・概念が誕生しました。そこから、2度のブームがあり、現在は第3次AIブームとされています。その中で、私が一番びっくりしたのは、今、日本の職業で55%の方が、2045年に人工知能で置き換わるとされています。そこまで、人工知能の技術が進んでいるということです。身近なところでは、新聞や絵画も、人間とAIが描いた絵では区別が着かないということです。それと同時に医療関係などの地域格差が、一気に無くなっていくそうです。ハードウェアも発達し、僅かな時間で膨大な演算ができるようになり、またカメラなどにより『目』も持つようになりました。このように、人間の仕事や機能がコンピュータに置き換わってしまうことで、同時に我々生きている人間が、自分達の在り方が問われるようになるとも言われてきています。新型コロナウイルスも含め、世界が変化していく中で、ロータリークラブも、その存在がまた問われてくるかと思えます。

幹事・委員会報告

●幹事(横見 健太)

- ・来年度に向けて幹事の引き継ぎが完了いたしました。
- ・6月1日の役員理事会で審議できなかった議題がありますので、今月中にもう一度役員理事会を開催いたします。



今後の議題として(案)

- ①達成するかどうか
- ②会費として一括徴収して財団にあてるのか
- ③ロータリー財団月間(11月)中のニコニコボックスはロータリー財団への寄附にする

本日のプログラム  
「ロータリー財団寄附について」

・目標金額 1人160ドル  
現在のところ、継続的に毎年達成  
→しかしながら、寄附者の偏りや、特定の役職者への負担を大きくしている

6つの重点分野

重点分野	補助金額 (2018年度)
疾病予防と治療	\$ 35,660,986
水と衛生	\$ 18,761,791
基本的教育と識字率向上	\$ 10,998,136
経済と地域社会の発展	\$ 10,503,910
母子の健康	\$ 7,204,677
平和と紛争予防/紛争解決	\$ 3,547,899

計 \$ 86,677,399



ニコニコボックスへの寄附を、該当のスケジュール月間はそれぞれに寄附をする(10月・米山記念奨学/11月・ロータリー財団)

アーチ・クランフ・ソサエティ

累積250,000\$以上の寄附者は、アーチ・クランフ・ソサエティのメンバーとなり、国際ロータリー世界本部17階のギャラリーに肖像写真が飾られ、タッチスクリーン式の案内板で略歴とビデオが紹介されます。また、メンバーのための特別行事に招待がされます。



管理委員会サークル(以下、Circ)	: 250,000\$以上
管理委員長Circ	: 500,000\$以上
財団Circ	: 1,000,000\$以上
管理委員会プラチナ(以下、Pt)Circ	: 2,500,000\$以上
管理委員長Pt CIRC	: 5,000,000\$以上
財団Pt CIRC	: 10,000,000\$以上

ポール・ハリス・フェロー(以下、PHF)

累積1,000\$以上をロータリー財団の年次基金、ポリオプラス基金、あるいは財団が承認したグローバル補助金に寄附をした個人に感謝を表す認証



マルチプル・PHF

最初の1,000\$の後に累積した寄附1,000\$毎に授与されます。襟ピンには寄附額に応じた宝石がついています。

寄附額	宝石
2,000\$以上	サファイア1粒
3,000\$以上	2粒
4,000\$以上	3粒
5,000\$以上	4粒
6,000\$以上	5粒
7,000\$以上	ルビー1粒
8,000\$以上	2粒
9,000\$以上	3粒

メジャードナー

累積10,000\$以上をロータリー財団へ寄附(指定条件を問わず)をした個人または夫妻に感謝を表す認証。襟ピンの他に、クリスタル(↓写真)を受け取ることができます。



メジャードナー	寄附額
レベル1	10,000\$以上
2	25,000\$以上
3	50,000\$以上
4	100,000\$以上



ポール・ハリス・ソサエティ

ポール・ハリス・ソサエティは、年次基金、ポリオプラス基金、あるいは財団が承認したグローバル補助金へ、毎年度1,000ドル以上を寄附する方(個人)を認証するプログラム。



例会Report

寄付とは寄附者が「自らの意思に基づき金銭・財産を対象期間や施設等へ無償で供与すること」で行われます。意見にもあった通り「本人の意思を尊重」する過程を大切にすることは重要であると思いました。

また、「寄付の目的」「寄付の目標」が無ければ寄付に対する公平性は欠如していくと思います。ロータリー財団創設に当たり「世界でよいことをするために」発案された経緯から使命や6つの重点分野、身近に活用できる地区補助金のこと等学びを深めていくことが目的の明確化と目標達成に不可欠ではないかと考えます。(原田 充 会員)

ニコニコBOX・ロータリー財団・ポリオプラス・米山奨学会寄附

横見 健太、岡田 等、西茂、飯田道昭、東 皆子、米田 誠、原田 充、粟田 卓二、蔵西 順治、高松 祐輔、小林 博子、村中 高次郎、川端 茂、村谷 哲也、勝崎 猛

会長挨拶



沖見 好秀 会長

最近、アメリカで人種差別による暴動や略奪があります。原因は黒人の方が、白人の警察によって殺されたことに由来しています。事故とは思いますが、あれがもし、黒人の警官が、白人を殺してしまった場合、暴動が起きていたのかどうかということだと思います。奴隷として連れてこられた歴史こそあれ、リンカーン大統領による奴隷解放宣言から150年以上過ぎて、それ以前の記憶の残る者がいない中で、差別意識を訴えるのは黒人の被害者妄想のような気がします。そしてそれが、結局、『攻撃』というよりも『反撃』という考え方で、個人の頭の中で、正当化してしまったのであろうと思います。被害者妄想というのは、便利ですね。これは黒人に限った話ではないのかと思います。ロータリーでもやはり見られます。ロータリーでは、先進国と途上国とで意見が食い違い、ここ近年、先進国のロータリアンの数が非常に減り、その逆に途上国のロータリアンの数が急激に増えています。そしてその途上国の人達の意見の方が通りやすくなっています。例えば、ロータリーの例会は年に1回で良いとか、あるいは、ロータリアンになる資格が、誰でも良い、その家族でも誰でも良いんだとかが、通っています。これはきっと、途上国のロータリアンの考え方が、著しい利己主義者が多いのではないかと思います。先進国側のロータリアンは利他の心というのを理解できると思うのですが、やはりその利己的な考えの人が増えてくると、なんだか変な方向に進んでしまうのではないかと、つい最近、考えておりました。この先、どうなるのかは分かりませんが、これを良くしていくのは、やはり、我々、日本のロータリアンではないかなという風に考えております。ふと最近のニュースを見ながら、ロータリーと照らし合わせて、ロータリー大丈夫かなと考えた次第でございます。

幹事・委員会報告

- 幹事(横見 健太)
  - ・2020-2021年度国際大会の日程が決まりました。
    - 日時: 2021年6月12日～16日
    - 会場: 台北港南展覧館
  - 受付が6月20日より開始されます。
- 社会奉仕委員(沖見 好秀)
  - ・6月30日にロータリーロードの整備をします。動きやすい格好で来て下さい。
- 会長エレクト(勝崎 猛)
  - ・今年度のハワイにおける国際大会は中止ですが、代わりにバーチャル国際大会が6月20日～25日にあります。ご興味のある方は、是非ご参加を。
- 地区米山記念奨学会委員(村中 高次郎)
  - ・米山記念奨学会員による国際大会、『出会いin台湾』が国際大会の前日である6月11日にあります。こちらにも参加料が発生しますが、皆さん、是非、ご参加下さい。

本日のプログラム  
「イニシエーションスピーチ」

2015-2016年度の米山記念奨学生の  
コウさんから、マンゴーを頂きました。  
ありがとうございます。



(有)北国福祉医療開発  
代表取締役 小林 博子 様



ニコニコBOX・ロータリー財団・  
ポリオプラス・米山奨学会寄附

沖見 好秀、横見 健太、小林 博子、  
飯田 道昭、村谷 哲也、粟田 卓二、  
蔵西 順治、東 皆子、岡本 壮生、西茂、  
多川 裕満、米田 誠、高松 祐輔、  
原田 充、川端 茂、勝崎 猛

(有)北国医療福祉開発は、福祉事業をしております平成5年に設立しました。まずはグループホームを立ち上げて、その後、小規模多機能の施設を運営しております。弊社では、認知症の方や介護認定を受けた方を主に受け入れており、他に、宿泊、デューサービス、訪問介護もするという事で『小規模多機能』の形式をとっております。皆様にご登録いただきまして、その方の介護度に合わせてような形でお世話をし、できるだけご自宅を中心として、みなさんが、その人その人に合わせて生活しやすい形を中心にして考えている施設になっています。会社を立ち上げてから、皆様に愛され続けられたことで、20年以上を経営することができました。そのため、私自身も、社会に対して恩返しをしたいと思ひまして、ロータリークラブに入らせて頂きました。こんな私ですが、何卒よろしくお願ひいたします。



田んぼに囲まれた、のどかな場所で  
経営をされています。

〒929-0455  
津幡町 倉見 力199-3  
TEL: 076-288-8587  
FAX: 076-288-8587

誕生月祝い(5月)



多川 裕満(41) 会員(写真左)



愛の形は人それぞれですが、携わって  
頂ける方々に、少しでもいろんな形の  
愛が施設の中に吹き込まれる形になる  
ことを願ひまして付けてあります。

小林 会員が、台湾に興味があ  
りとのことでしたので、  
軽くおさらいです。



小松～台湾  
約1,920km  
飛行機で、140分

例会Report

この日の例会は新会員である(有)北国福祉医療開発の代表取締役 小林博子 様によるイニシエーションスピーチでした。コロナ禍で今まで通りとはいきませんが、ウィズコロナのカチをつけて新会員も含めた会員同士の交流が継続していきたいと思ひました。(多川 裕満 会員)

なんと、人口比にして  
日本の15%程度  
(死者率は4%)

	台湾	日本	
面積	36,014	377,974	km <sup>2</sup>
人口	23,726	126,443	万人
政体	民主共和制	民主共和制 (象徴としての 君主有)	
名目GDP (一人当たり)	5,749億 (24,408)	48,673億 (38,402)	米ドル (USD)
通貨	新台幣ドル(TWD) ≒ 29.6 TWD/USD	円(JPY) ≒ 107.3 JPY/USD	レートは 6月15日現在
新型コロナウイルス 感染者数	443 (うち死者7名)	17,502 (うち、死者925)	名 (6月15日現在)

参考:厚生労働省HP、外務省HP、総務省統計局「世界の統計2020」

# ロータリーロード清掃 (6月20日(土))午前9時・河北潟干拓地

天気:曇  
気温:21℃



整備前

(←)梅雨期間で雨が多く、草がどんどん伸びてきました。



(↑)汗を流した後の至高の一服



整備後

みなさま、お疲れ様でした。

## 会長挨拶



沖見 好秀 会長

先週の土曜日、ロータリーロードの草刈りに参加された皆さん、本当にお疲れ様でした。やっぱり草刈りを終えてみますと、清々しい気分になりますね。仕事の前やイライラしている時に、片付けや掃除みたいなことをすると、スッキリして上手く仕事に入れるというデータがあります。家庭においては、食器を洗ったり、ご飯の後片付け、食器洗いが精神衛生上、非常に良いらしいです。僕、毎日のように、やっていますが、オススメをいたします。早いもので、今日を含めて僕の年度もあと2回となりました。特に今年は、コロナの休会もありまして、特に短く思いました。そんな中でも新しく入会された方もいらっしゃいまして、非常にうれしいことだと思えます。そこで、僕から少しだけ、ロータリーの基本的なところをおさらいしたいと思います。先ほど、ロータリーの目的と、4つのテストを読みましたが、これはハーバート・ジェー・テラー氏が作られました。これは、今から約100年前、1928年から30年の後半にありました世界大恐慌中に、倒産しそうな会社を立て直すために、この4つのテストをベースにして立て直したという話です。それが、今現在でも続いているとのこと。今後、起こりうるコロナ大恐慌が、どのようになるかは分かりませんが、また4つのテストが大事になるのではないかとこの風に乗っかっています。みなさん、この4つのテスト、今一度読み返して、自分の仕事と自分の行動に照らし合わせて、活動していけたらと思います。

## 幹事・委員会報告

### ●幹事(横見 健太)

●本日の例会終了後に、臨時の役員理事会を開催いたしますので、役員・理事の方々は残って頂きますよう、よろしくお願いたします。

### ニコニコBOX・ロータリー財団・ポリオプラス・米山奨学会寄附

沖見 好秀、横見 健太、岡田 等、原田 充、米田 誠、村谷 哲也、粟田 卓二、飯田 道昭、東 皆子、蔵西 順治、川端 茂、高松 祐輔、西 茂、勝崎 猛

## ガバナー補佐報告

僕は、ロータリーというものには10年ほどいるのですけれども、ガバナー補佐となりまして改めて知ったこと、だからこそ勉強したことが沢山ありました。いろんなクラブに行きますと、クラブのカラーがございますので、それを体験するだけで、非常に面白くなると思います。なので、どうぞ皆さんも、それこそロータリークラブは、メイキャップで自由に行けますので、そういった機会を見つけて訪問することも良いかと思えます。さて、私は周りとは比べても、訪問しただけに留まる活動内容となってしまうかもしれませんが、他の方々、特に富山地区の方々にはプログラムの一つの『IM』に非常に力を入れておられて、『補佐になったらIMをやるのが華なんだ』といわんばかりでした。その点において、少々力不足であったことを感じておりました。また、7月からの来年度では、地区の職業奉仕委員長に拝命されました。当初は、無難にアンケートを読んで、講師と呼び出したものにしてどうかと考えておりましたが、先程の沖見会長の『ロータリーの目的』や『4つのテスト』の説明されましたけれども、やはり我々は職業人の集まりで、自分のビジネスを良くすることが大事です。これらは、そのヒントの一つになると思います。また、職業奉仕という部門がありますが、この中でも色々な議論があり、今、光明に少しだけ見えてきた気がします。ロータリーの目的などにある『奉仕の理念の育成』、自分を忘れず、その上で他を利することができる『超我の精神』、そういったものを研究してみようという風に思っています。そこで、今年できなかったIMの代わりに来年度、自分としては、また頑張りたいと思っていますので、どうぞ皆さん、ご協力のほど、よろしくお願いたします。1年間、どうもありがとうございました。

## 本日のプログラム「クラブ顕彰」



(个↓)会場監督として、1年に渡り例会の司会進行を行われた村谷 哲也 会員



岡田 等 2610地区ガバナー補佐

## 受賞者挨拶

今年度のクラブ顕彰ということで、会場監督の役が私が頂くことになりました。この役を初めて頂きまして、自身の勉強としても、いろいろ経験していくことは大事だと思うので、私以外の会員の方も経験して頂ければ良いかと思えます。役が基礎を作って、人を育てることもあります。自分はまだ4年目で、入会当初は右も左も分かっておりませんでした。先輩の方の支えで、ここまでこれたと思っています。自分は、本当にしゃべるのが苦手で、どもったりして、皆さんに不愉快な思いをされたかもしれませんが、最後まで精一杯、今年度、総仕上げということで頑張っていきたいと思っています。コロナの中で、なかなか会場に集まる機会も少ない中で、お休みもありましたが、こうやってまた、皆さんと顔を合わせてやってくるのが、幸せなことだと思います。1日も早く、コロナが終息して、皆さんと食事を交わしながら、通常通りの例会ができることを望んでおります。また、少しでも会員が増強されればよいなと思ひ、その辺もまた皆さんと力を合わせて、次年度やっていきたいと思ひますので、よろしくお願いたします。ありがとうございました。

## 例会Report

本日のプログラムはクラブ顕彰ということで、会場監督を1年間務めて頂きました村谷さんが表彰されました。私も2年前に務めたものでしたが、私も同じく口下手な上、私も村谷さんと同じく入会3年目で就任したものでしたが、当初は苦労をしたものでしたが、『役が人を育てる』とおっしゃる通り私も、それを機に一つ成長ができたような気がします。岡田さんも地区ガバナー補佐をされ、他クラブとの交流を通じて見聞とすることがあり、それを今後活かしたいとも思っています。コロナ禍で第二波が懸念され、もしかしら、また長期休会に入るかもしれませんが、やはりなるべく、皆さんで顔を合わせて互いに高め合う形がとれればと思います。改めて、1年間の会場監督をお務め頂きました村谷さん、またガバナー補佐で他のクラブを訪問された岡田さん、お疲れ様でした。

(高松 祐輔 会員)

村谷 哲也  
会場監督委員長

会長挨拶



沖見 好秀 会長

東京の方では、新型コロナウイルスの新規感染者が70人くらい見つかったということで、少し良くない状況になってきておりますので、皆さん、ご注意くださいと思っています。本日、久しぶりにロータリーの友の5月6月の合併号が手元に届き、内容を見た時に、やはりコロナについてが書いていました。また、そこでは、ロータリーの適応性が試される時と書いてありました。さて、その中で、よくTVで言われていることですが、気になることがありました。『〜女子』という言葉がありますよね(例:『歴女』『山ガール』など)。これは、私は、女性に対して軽く見ているような気がします。ロータリーも長い歴史にあたって、女性を低く見ていたことがあります。最初は、女性会員を認めていませんでした。今では考えられないことです。現在でも日本における女性会員の比率は4%と、世界平均15%でも低めです。ここ近年は、女性の力が非常に大事だと再認識しています。現在、当クラブでは2名の女性会員がいますが、非常に貴重な存在かと思えます。やはりこれからは、男女平等な社会です。貴重な女性会員を大事にしていっていただけたらと思います。

幹事・委員会報告

●幹事(横見 健太)

- ・7月の例会も18時からの開催となります。
- ・6月中は弁当を持ち帰り頂く形式でしたが、7月からは会場で食べる形式に戻ります。

ニコニコBOX・ロータリー財団・ポリオプラス・米山奨学会寄附

- 沖見 好秀、横見 健太、岡田 等、岡本 壮生、東 皆子、多川 裕満、西 茂、蔵西 順治、粟田 卓二、高松 祐輔、村谷 哲也、小林 博子、米田 誠、川端 茂、原田 充、広瀬 和人、勝崎 猛



西 茂 会員より  
水餃子を頂きました。  
ありがとうございます。

本日のプログラム「会長・幹事 退任挨拶」



勝崎 次年度会長(写真右)より、  
沖見 会長(写真左)へ花束の贈呈



村谷 次年度幹事(写真右)より、  
横見 幹事(写真左)へ花束の贈呈



令和2年5月30日

『おうちでごはん  
応援プロジェクト』  
で、一人親世帯に  
勝崎館特性お弁  
当を配布



沖見会長・退任挨拶

まずは、1年間、本当にありがとうございました。この場に今、立てるのも、皆様のご理解とご協力があったからかと思えます。今年は、コロナの影響で、例会が長く休むという、今までに経験が無いことがありました。しかしながら、そのような中でも、ウェビデオ会議のZOOMを活用した、リモート会議をやってみたり、この状況下だからこそその津幡町の一人親家族世帯へのお弁当配布をやってみました。その時は、皆さんで力を合わせることで気持ちが繋がった感触があり、またそれが地域の皆さんにも、思いが伝わったのではないかと実感がありました。非常に良かったなど、そういう思いであります。次年度は、勝崎年度ということでございます。勝崎会長を皆さんで支えて、新しい物語を、皆さんで作って頂けたらと思います。



横見幹事・退任挨拶

今年度は、新型コロナウイルスの影響で休会期間がこんなに長引くとは思っていませんでしたけれども、最後の6月には、皆さんと顔を合わせて例会を開けて良かったと思います。昨年の7月から沖見会長の下、幹事の良役を頂くことになりました。私自身もまだ、3年目でしたので、充分な働きができたかは不安ですが私なりに頑張らせて頂きました。その分、沖見会長には、大変ご負担をおかけいたしまして申し訳なかったかと思っています。まだ、ロータリー財団寄附等の関係で、課題が残ってしまいましたが、非常に貴重なご意見もあり、次年度以降も引き続きご検討頂ければと思います。今年度で一番印象に残っていることは、やはり、お弁当の配布ですね。議論を重ね、試行錯誤をし、町の役場の方にも動いていただいて、よりよい形でロータリーらしい社会奉仕ができたと思います。次年度からは事務局体制も大きく変わり、私も役員に残りますので、勝崎年度になりましても、私にもできることがありましたら、微力ながらお力添えをしたいと思います。ありがとうございました。



編集後記

昨年の7月より、クラブ会報委員長を拝命いたしまして、1年間クラブ会報の作成に携わらせて頂きました。当然のことながら、『記憶』はやがて失われるものですので、それをできる限り繋ぎ止められるよう、私は『記録』を重視して作成いたしました。その上でも文字起こしされた議事録は大変貴重で、会報作成の上でも非常に有用でした。この活動記録が、少しでも今後に活かせることを祈りまして、今年度のクラブ会報委員長を貴務を終えたいとおもいます。最後に、ご協力頂きました皆様、並びに、挿入イラストとして利用させて頂きました いらすとや様。そして、お読み頂きました皆様にご感謝を申し上げます。誠にありがとうございます。

加茂川 寛之